

小 高 中
学 校 通 信

浮 舟

(第11号)



平成27年10月15日(木)
＜発行者＞校長 箭内 仁史
〒979-2335
南相馬市鹿島区鹿島字広町13
(南相馬市立鹿島小学校校内仮設)
☎0244(46)4268

＜学校目標＞ 高い志を持ち努力する生徒の育成 **～夢の実現～**
＜重点目標＞ 他とつながり、進んで課題解決できる生徒の育成



めっきり朝・夕の冷え込みが増し、秋らしい気配感じられるようになりました。毎日の授業や各種行事、部活動等の充実を図り、知・徳・体の各能力を高めるにふさわしい絶好の時季になりました。

今月1日には生徒会代表が「赤い羽根共同募金」の街頭募金活動に参加し、今までに受けた支援に感謝しながら、校内でも全校で募金活動に取り組んでいます。また、9日には西郷村で行われた県駅伝大会で相双地区の代表として、チーム一丸となって精一杯の走りを見せられました。ご声援ありがとうございました。

現在子ども達は群青祭に向けて、放課後遅くまで準備を進めています。本番の創造性を生かした生徒の活躍が楽しみです。

後期生徒会総会～前進する生徒会～

今週14日に後期生徒会総会を実施しました。後期生徒会スローガン『笑顔満開』の発表から始まりました。「生徒のみなさんが1日1日を笑顔で過ごし、学校全体が明るく元気になるよう頑張しましょう。」という渡辺生徒会長の頼もしい挨拶の後、後期専門委員会の活動計画案の報告がありました。目標達成に向けて仲間とともに全身全霊で取り組み、達成したときの喜び、笑顔がたくさん見られることを楽しみにしています。

今回も「いつから、具体的にどんなことをするのか」「こんなことをしたらどうか」等の真剣で、建設的な意見が数多く出され嬉しく思いました。きちんと回答をしテンポ良く1時間が過ぎました。自分達の学校としての前向きな考えを持ち、少しでもより良くしていこうとする生徒会の姿が随所に見られました。さらに上を目指し、前進する生徒会に大いに期待しています。



3年国語科俳句特別授業

先月25日に江井芳朗先生（小高区出身の元校長先生）をお招きして、3年国語科の授業で俳句の特別授業を実施しました。普段馴染みが薄くとまどいながらも、日本の俳句の良さを実感できたようです。その作品が10/11付け民報新聞に掲載されましたので、紹介します。中学生らしい感受性豊かな作品ばかりです。

- 轟（とどろき）きて稲刈り励むコンバイン（只野君）
- スマッシュ打つ音爽やかに秋の空（越田さん）
- 誘惑に勝てずに食べたさつまいも（福田さん）
- 新米の炊き立てとつてもよい香り（桑折君）



裏面もご覧ください

良き社会人を目指しての子育てを

11日に福島県PTA研究大会二本松大会があり、前PTA会長の藤橋秀市さんが福島県PTA連合会会長表彰を受賞されました。受賞おめでとうございます。参加した分科会（「良き社会人を目指しての子育てを」）講演の一端を紹介します。（株式会社クラロン社長 氏川守義氏）

「幼少期の過ごし方は大人になってからの性格、能力、生き方に影響する。普通の社会人として立派にやっていける人に育てる。」

- 会社において好ましい人材とは：仕事に関する高度な知識技能を持ち、優れた実行力など色々な要素が必要。中でも大切なのは知識人として能力を発揮するにふさわしいバランスのとれた人格を備えていること。多くの組織は、チームワークを発揮することで成果を挙げます。個人的にいくら能力があっても人格に問題のある人はチームを阻害します。幸せな良き社会人になるには、幼い時からそのための教育を。その教育一端を担うのが親の役割。
- 豊かな心を育むために：家庭教育は①心を育む、②習慣を教える、③学びの基礎を教える。子どもは成長過程で、人々との交わりの中で、それではいけない事を悟る。人を思いやり、人の悲しみ、苦しみ、喜びに共感できる能力は、人との関わり合いで培われる。
- 子どもの悩み：何を悩み苦しんでいるかを知っていなければならない。親に相談できる関係を築く。悩みによって前進できない。勉強が手につかない。一方で、自分なりに悩みと向き合って大人になっていく。誰かが相談に乗ってあげる。（家族、親友等、学校の先生、スクールカウンセラー）子どもの悩みに対しては本気になって心配してあげて、聞き放しにせず具体的に対策を講じる。大切な話は面と向かって話すこと。
- 家庭の中での会話：一家団欒の時が求められる。やさしい会話は家族のつながりに不可欠。テレビの音だけで会話が無ければ団らんの一時とは言えない。まして子どもが別室でテレビ鑑賞やゲームで一人無言の時間を過ごすなどは論外。
- 家庭教育と学校教育：子どもの教育を全面的に学校に依存するのは親として責任回避。家庭教育と学校教育は車の両輪であり、どちらも子どもの教育に欠かせない。家庭と学校では教育の役割分担が異なる。家庭教育は通常マンツーマン教育、学校教育は集合教育。幼児期は家庭教育が全て。反抗期は精神的独立の時期、親離れの時期の対応も大切。

＜ “金銀宝石などどんな財宝も子宝には及ばない” 皆様はどんな財宝にも勝る素晴らしい宝物をお持ちですから、心を込めて慈しみお育てください。＞